

INDEX

- 1 表紙
- 2 最近のSLA
- 3 電話相談報告
- 4～5

20周年記念行事

- 6 会員のページ
- 7 コラム&情 報
- 8 行事予定

NPO法人 中国シニアライフアドバイザー協会 会 報 106 号

協会設立20年の節目



2015年12月7日発行

カトマンズ ポタナート（世界遺産）

写真／中城会員

最近のSLA

● 2015.10.31(土)20周年記念行事



記念講演

「どうなる介護保険 求められる地域の力」

❖講師

広島県介護支援専門員協会

会長 荒木 和美 氏

❖時間 11:00～12:15

❖会場

広島市の宿 相生 (あいおい)



● 達人たちの夢2015



9月18日(金)～20日(日)

合人社ウエンディひと・まちプラザ北棟5階 研修室

平成27年度広島市高齢者作品展の展示コーナーと体験コーナーに出展、参加しました。

● 全国一斉電話相談



協会事務所にて 9月26日(土)～27日(日)

● 健康マージャンde忘年会



12月6日(日) 10時～15時30分 出席17名

電話相談報告

第39回全国一斉電話相談 「シニアの悩み 1 1 0 番」

理事長 藤咲 俊昭

秋の「シニアの悩み 1 1 0 番」が全国 6 協会で行われ、9月26日（土）～27日（日）に実施されました。私たち中国シニアライフアドバイザー協会でも受けた相談は、61件でした。

◆全国SLA協会毎
の相談件数

関東	中部	関西	東中国	中国	九州	合計
171	70	81	34	61	57	474

26日（土）午前中に中国SLA協会へNHKテレビの取材が入り、お昼と夕方のニュースで放映されました。

中国SLA協会と東中国SLA協会の電話番号が画面上に大きく表示されました。

（取材の様子）



（放映のテレビ画面）



相談者数検証～増えている80歳代の相談者 90歳代からの相談も～

80歳代・90歳代の相談が増え、相談者の高齢化が目立ちました。5年前の電話相談では、80歳代の相談件数は全体の10%未満でした。回を重ねるごとにすこずつ増え続け、今回は20%近くを占めるようになりました。また、数年前から90歳代からも電話がかかるようになり、2013年秋、それ

まで80歳以上としていた年齢区分を、80歳代と90歳以上の2項目に分けました。今回は、90歳以上の相談が10件にのぼり、電話相談にも超高齢社会を示す数字が出ていることを実感しました。（結果報告書より抜粋）



★相談内容別・年代別（全国）

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
相談内容別	遺言・相続	家族関係	住居	経済	健康・医療
年代別	70歳代	60歳代	80歳代	50歳代以下	90歳以上

社会提言【1】～誰にでも起こりうる老人の貧困～貧困を止める方策を 【2】～空き家の所有者も困っています～求められる地方自治体の支援 ◆詳しくは、結果報告書をご覧ください。協会ホームページに掲載しています。

設立20周年記念行事が開催される



NPO法人中国シニアライフアドバイザー協会

10月31日（土）、NPO法人中国シニアライフアドバイザー協会設立20周年記念講演及び祝賀・交流食事が行われました。当日は晴天の秋空に恵まれ、会場の平和記念公園隣接の旅の宿「相生」のロビーでは、三々五々集まるSLAのメンバーの懐かしい再会で賑わっていました。20周年という佳節の節目であり、過去への敬意と将来への希望を込めて記念行事は二部構成で行われました。

第一部は午前11時より 「記念講演」
題名「どうなる介護保険 求められる地域の力」
講師 広島県介護支援専門員協会
会長 荒木 和美氏

講演内容は、長い経験のなかでの地域福祉の取り組みをこれからの課題を含めて話されました。とくに、地域支援事業に移行していくなかで、私たちシニアライフアドバイザーがどのように関わっていけるのかを踏み込んで説明されました。

（講演会終了後、記念撮影）



第二部は、午後12時半より「交流食事会」
来賓・SLAメンバーの参加者32名が、純和風旅館の宴会場にて、養成講座の同期懇親会を含めて行われました。理事長の挨拶、来賓祝辞、乾杯のあと、美味しい旬との出会い、机を並べた仲間との再会を楽しく過ごすことができました。多忙のなか、お祝いに駆けつけていただいた来賓の方々にも激励のことばをいただきました。中座では、野口会員の笑いと健康のトークショーも入り、一層盛り上がったものになりました。すべてのテーブルを飾った生花は、協会の温もりとやさしさを感じさせる一時にもなりました。懐かしさあり、近況報告あり、SLAの昔話、明日の協会運営のありかたなどの語らいであつという間に時間が経過しました。

閉会では、楽しい時間を共有した今日のように、今後も定期的にこうした会が開かれることを願い、また参加者が今後の更なる活躍と健康を誓って閉会となりました。最後に、「式次第パンフへの広告」に協力していただいた方々に感謝を申し上げます。



（再会に笑顔）

* 講演会の写真は2ページにあります



中国シニアライフアドバイザー協会の設立20周年おめでとうございます。

突然にお誘いの文書が届き、設立から20年も経過したのかと懐かしく思い、このたび記念講演と懇親会へ参加させていただきました。

冊子を読み、優しい感じのリーフレットやロゴマークを見るにつけ、私がご無沙汰している間に、皆様におかれましてはいろいろな形でご尽力され、活発に活動を継続されていることを知りました。当時仲良くしていただいていた塩見さんの訃報に接し、何十年ぶりに青山さんにお目にかかり年月の長さも感慨深いものがありました。

私は社会保険労務士業を営んでおり、事業継承を睨みつつ、まだ現役で頑張っています。今、私が一番力を入れて取り組んでいるテーマが、「女性活用」と「仕事と介護の両立」です。働き盛りの人たちが介護で離職することの無いように企業は何を求められているか、企業の顧問社労士として情報を集めたり勉強しているところです。介護保険法の改正によって地域の力を求められています、力の結集や力の発揮はまだ道半ばです。

周りを見渡すと、シニアライフアドバイザーのお役立ちもたくさんありそうですね。ご活躍をお祈りいたします。

お誘いいただき有難うございました。

(2期 瀬川徳子)



20周年記念おめでとうございます。

記念行事の案内が貴会から届く前に、主人と同期である F 氏から「ぜひ参加してほしい」旨のおさそいを受けました。

私たち夫婦は西区で、障害があるため一般の企業に就職できない障害者の就労支援のための施設を立ち上げています。今では近隣中学校の職場体験の受け入れや地元小学校児童が交流にやってきました。地元高齢者との交流会も行っています。

シニアライフアドバイザー会員の方々も施設に足を運んでいただいて、たくさんの方と知り合うことができました。記念講演の荒木和美先生の講話の中で、今行っている高齢者との交流会も大切な地域の宝であると気付きました。

交流会での食事は、今まで味わったことのない和やかで、楽しい会でした。主人も元気になったら皆様と一緒に活動したいと思っています。会員の皆様に支えられていたのだと気付き感謝しております。

シニアライフアドバイザー協会のますますのご発展をお祈りいたします。ありがとうございました。

(4期 八橋孝幸 内 香苗)



マイ・エンディングノートに ありがとう！を込めて

この度、私の油断で転倒、骨折し突然入院することになりました。

要支援の夫と二人暮らしの中での予期せぬ出来事でした。単身赴任中の息子が帰省の都度、夫の世話をしてくれ、嫁さんはパートの身で家事をやり繰りして病院に来てくれました。家族ならこそと激痛に耐えるベッドの中で涙しました。ただただ「ありがとう」の感謝の言葉有るのみです。この「ありがとう」の感謝の思いを「家族への愛のメッセージ」としてこの度初めて書くエンディングノートに書き残したいと思って居ります。

それから、今一つ身に沁みて思ったことは家庭内の諸事全般を私が一手に担って居りましたので、辛い入院の最中に貴重品の在り処等を伝えることは至難の業でした。いざと言うときに家族が途惑はない様に「家族への愛のメッセージ」として書き添えて置きたいと思って居ります。今回の入院経験で病の中での不安がどれだけ辛いものかしみじみ経験いたしました。励ましてくれる家族がいてさえも心細さは測りしれませんでした。

昨今のSLAでの電話相談ではご高齢の方の先行き不安、特に一人暮らしの方のご相談が多くなって来て居りますが、家族がいてさえも不安感は想像に絶するものがあります。ましてや一人暮らしで身寄りがなければどんなに心細いだろうか。

現在私は退院し療養中ですが、幸いにも歩行困難な私に、身近な方々から暖かい手を差し伸べて頂いております。高齢社会の中で先行き不安の心細さを抱いて暮らしている高齢者の方々を、少しでも和らげてあげられる事は出来ないだろうか。SLAの私が出来る事は何だろうかと思いを馳せております。

(2期 安永美子)

達人たちの夢2015 地域活動報告

「達人たちの夢」では地域活動のパネルを展示しました。活動内容は次の通りです。

◇傾聴ボランティア「安佐北ミミの会」は、まさにSLA活動です。安佐北社協の復興連携センターでは被災地域での「すまいるカフェ」を支援し、可部東、大林で開催されている。月一回のカフェで安佐北ミミの会では、ハンドマッサージで気持ちを癒しながら、被災時やその後の話を聴き、問題があれば社協へつなげています。

◇広島市認知症アドバイザーとして、団体や地域で包括支援センターと共催の「認知症サポート研修会」を開催している。認知症の理解や接し方、オレンジリングの周知などの研修内容を通して、一人でも多くのサポーターの育成に努めています。

◇広島市環境サポートとしては、環境問題の種々のイベントに参加したり、また周知させたりなどしている。一方、子供たちが自然の中で、のびのびと遊べる場づくりなどにも傾注しています。

“継続は力なり”で微々たる活動ですが、それぞれ会員の皆さんと共に、明るく、楽しく、絆を深めながらの活動をしております。
(4期 柏原沃固)



コラム&情報



『ケアマネのひとりごと』

先日「一人暮らしで認知症の高齢者が住み慣れた自宅で暮らしたいという希望をかなえるには」という研修がありました。

ケアマネジャーの仕事に従事して5年以上になりますが、このような高齢者が本当に多くなっている現状があります。火の不始末は？排泄の失敗があったら？薬は？食事は？ヘルパーさんやデイサービスを利用してもそれ以外の時間は？夜中の徘徊の対処は？問題は色々です。

グループワークでしたが、あるグループの医師から「家で暮らすのは無理！施設でしょう！」とズバツと言われました。確かに「施設」という選択肢が一番の安全策ではありますが…一番大切な本人の気持ちはどうでしょうか？本人が「住み慣れた家で暮らしたい」のであればケアマネとして「家で暮らせるように」色々な方法を考えていきます。ただしそれには「一人で暮らす」と決めた本人の「覚悟」、一緒に暮らせない事情があり「一人暮らしをさせる」家族の「覚悟」が必要になります。何かあっても誰のせいでもないその「覚悟」が…でもその「覚悟」ができず、家族が「施設」を選択してしまう現実があります。でもそれも家族の辛い「覚悟」だと思います。（4期 角崎多恵）



★役員改選★

平成28年度は役員改選です。理事、監事の立候補を受け付けています。立候補を希望される正会員の方は、平成28年1月末までに理事長へご連絡ください。

日本尊厳死協会の出前講座

日時：2016年3月5日（土）10時半～12時

場所：中国シニアライフアドバイザー協会 事務所

テーマ「あなたらしい最期の迎え方」

定員：20名（要申込）

講師：一般財団法人日本尊厳死協会
中国地方支部長 正木文治氏

参加費：無料



参加申込受付中 申込先は会報P8へ

中国シニアライフアドバイザー協会主催

健康マージャン de 新年会

1月16日（土）
12:00～16:00
12時集合・受付 12時半までカフェタイム
12時半～健康マージャン

参加費：600円（または、メンバーズカードのスタンプ6個）

申し込みは先着順16名
成績上位者には賞品があります

於：協会事務所

連絡先：幸田洋子
電子メール：sia.hiroshima@gmail.com
電話：090-4146-0282

忘年会に参加できなかった方、今回はお見逃しなく！

★編集後記★羊毛のようにふわふわとあたたかい年になりますように！と年頭に願いました。懐かしい同期生の心と手のぬくもり、時が流れても通じるものがありました。
（事務局 幸田洋子）

行事予定

＊カレンダーに記載がなくても**毎週水曜日**
10～13時は事務所にいます。(祝日は休
 み)



月	日	曜	時間	行事内容
12月	2日	水	10:30～15:00	パソコン個人教室
	6日	日	10:00～15:30	健康マージャンde忘年会
	9日	水	10:00～12:00	スマートカフェ
	12日	土	10:30～12:00	理事会
	第2・3	水	13:00～15:30	健康マージャン教室サロン
	毎 週	土	13:00～15:30	健康マージャン教室サロン
2016年				
1月	6日	水	10:30～15:00	パソコン個人教室
	9日	土	10:30～12:00	理事会
	13日	水	10:00～12:00	スマートカフェ
	16日	土	12:00～16:00	健康マージャンde新年会
	第2・3	水	13:00～15:30	健康マージャン教室サロン
	毎 週	土	13:00～15:30	健康マージャン教室サロン * 1/2.16は休み
	31日	日	17:00	役員改選立候補締切り
2月	3日	水	10:30～15:00	パソコン個人教室
	10日	水	10:00～12:00	スマートカフェ
	13日	土	10:30～12:00	理事会
	第2・3	水	13:00～15:30	健康マージャン教室サロン
	毎 週	土	13:00～15:30	健康マージャン教室サロン
3月	5日	土	10:30～12:00	日本尊厳死協会出前講座

〒730-0013
 広島市中区八丁堀13-15八丁堀ビル6 F
 TEL&FAX 082-222-2246
 (電話は水曜日10時～13時のみ)
 発行責任者 理事長 藤咲俊昭

☆お問い合わせ・申し込み☆
 メール sla.hiroshima@gmail.com
 ホームページ <http://www.sla-hiroshima.com>
 携帯電話 090-4146-0282 (幸田)
 090-7376-4127 (中元)